

2015年 5月度家計分析

提出者数 155名（登録者180名、提出率86.1%、昨年同時期より3名増、前月より3名減）

収入 全体の給与（夫・妻）が増加しました。その他の収入は企業年金、配当金、親より孫の教材費の援助、生命保険給付金などがありました。

非消費支出 収入の増加に伴い、税金が伸びています。社会保険も40代以外は増えています。60代以上、年金世帯で特に多くなっているのは、国民年金を年払いされた方があったためです。20～30代の妻で税金、社会保険が伸びていて出産や育児などからの社会復帰が早くなるという傾向が表れているように思います。個人年金は50代が多く、老後を考え、教育費などが減り、こちらへ回るのでしょうか。

税金、社会保険
私的保険

消費支出 通信教育費や前期の学費の支払いがあり教育費が20代から50代で上位になっています。食費、交際費は全年代で増加しました。食品の値上がりの影響や多雨による野菜の高騰が大きかったように感じました。ゴールデンウィークがありましたが、教養娯楽費は全体では前年と比べても少なく、4月よりも金額も少なかったです。旅費は前払いされているように思いますが、日帰りの娯楽も少なかったのかもしれませんが。

順位

順位	全体	20～30代	40代	50代	60代以上	年金世帯
1位	食費 68,217	教育 69,655	税金 74,548	教育 84,304	食費 67,209	食費 65,071
2位	税金 54,569	税金 67,656	教育 71,453	社保 82,224	税金 30,415	交際 27,322
3位	社保 47,271	家地 56,259	食費 69,950	食費 72,897	交際 27,375	教娯 26,595
4位	教育 45,694	私保 54,906	社保 67,890	税金 71,810	教娯 26,954	税金 25,618
5位	職主 35,220	食費 53,555	家地 56,678	職主 48,818	住他 25,085	職主 23,361
6位	家地 30,655	社保 50,711	職主 39,317	家地 44,997	職主 24,210	水光 18,864
7位	私保 28,483	職主 40,196	自動車 32,889	私保 43,230	自動車 21,377	自動車 18,550

注) 家地：家賃地代 私保：私的保険 社保：社会保険 教娯：教養娯楽費
住他：住居費その他 職主：職業主婦費 水光：水・光熱費